

耳 鼻 咽 喉 科 学

教 授	渡 辺 行 雄
助 教 授	麻 生 伸
助 教 授	中 川 肇
	(学内併任・医療情報部)
講 師	將 積 日出夫
講 師	浅 井 正 嗣
助 手	安 村 佐都紀
助 手	伏 木 宏 彰
助 手	藤 坂 実千郎
助 手	本 島 ひとみ
助 手	十二町 真樹子
助 手(前)	長 崎 正 男
前任技術官	武 田 精 一

◆ 著 書

- 1) H. Shojaku, S. Takemori, F. Kawana, et al.: Clinical significance of the sound-evoked cervical myogenic potentials among dizzy patients. In C.F. Claussen, C.T. Haid, B. Hofferberth (eds.) *Equilibrium in Research and Equilibrimetry in Modern Treatment*. Elsevier Science, Amsterdam/New York, 223-227, 2000.
- 2) H. Shojaku, K. Mizukoshi, Y. Watanabe: Epidemiological studies on Meniere's disease in Japan (1979-1998). In C.F. Claussen, C.T. Haid, B. Hofferberth (eds.) *Equilibrium in Research and Equilibrimetry in Modern Treatment*. Elsevier Science, Amsterdam/New York, 371-376, 2000.
- 3) 渡辺行雄: 静的平衡機能検査(直立検査, 重心動揺検査など). 「新図説臨床耳鼻咽喉科講座 第1巻. 内耳」八木聰明他編, 138-141, メジカルビュー社, 東京, 2000.
- 4) 渡辺行雄: 動的平衡機能検査(足踏み検査, 歩行検査など). 「新図説臨床耳鼻咽喉科講座 第1巻. 内耳」八木聰明他編, 142-145, メジカルビュー社, 東京, 2000.
- 5) 渡辺行雄: メニエール病. 「新図説臨床耳鼻咽喉科講座 第1巻. 内耳」八木聰明他編, 178-181, メジカルビュー社, 東京, 2000.
- 6) 渡辺行雄: 遅発性内リンパ水腫(同側型, 対側型). 「新図説臨床耳鼻咽喉科講座 第1巻. 内耳」八木聰明他編, 182-183, メジカルビュー社, 東京, 2000.
- 7) H. Shojaku, H. Shojaku, M. Shimizu et al.: MR Sialographic evaluation of sialectasia of Stensen's duct: Comparixion with X-ray sialography and ultrasonography. *Radiation Medicine* 18: 143-145, 2000.
- 8) Fushiki H, Takata S, Yasuda K and Watanabe Y.: Directional preponderance in pitch circular vection. *J. Vestib Res.*, 10: 93-98, 2000.
- 9) Fushiki H, Takata S and Watanabe Y.: Influence of fixation on circular vection. *J. Vestib Res.*, 10: 151-155, 2000.
- 10) K. Mizukoshi, H. Shojaku, S. Aso, Y Watanabe: Clinical study of elderly patients with Meniere's and related disease. *Auris Nasus Larynx* 27: 167-173, 2000.
- 11) Sando I., Takahashi H., Yasumura S. and May M.: Histopathology of the facial nerve in the temporal bone. In *The facial nerve*, by Mark May and Barry M. Schaitkin. (Ed) 127-152, Thime, New York, 2000.
- 12) Satoru Takata, Osamu Ohtani and Yukio Watanabe: Lectin binding patterns in nasal-associated lymphoid tissue (NALT) of rats and the influence of various types of lectin on the particle uptake in NALT. *Arch. Histol. Cytol.*, 63(4), 2000.
- 13) 安村佐都紀, 渡辺行雄, 將積日出夫, 碓井理恵: 温度眼振中の心電図R-R間隔の変動についての検討. *Equilibrium res* 59(1): 67-72, 2000.
- 14) 將積日出夫, 竹森節子, 渡辺行雄: 前庭誘発筋電位. *Equilibrium Res* 59(3): 186-192, 2000.
- 15) 張瑞麗: 強大音刺激時のラット脳幹内c-fos陽性細胞発現様式. *Equilibrium Res* 59(4): 266-276, 2000.
- 16) 浅井正嗣, 碓井理恵, 清水勝利, 渡辺行雄: 日常生活動作の画像解析. *Equilibrium Res* 59(6): 586-592, 2000.
- 17) 藤坂実千郎, 將積日出夫, 赤荻勝一, 長崎正男, 石田正幸, 渡辺行雄: 当科におけるナビゲーションシステムの使用経験. *耳鼻咽喉科展望* 43(5): 448-450, 2000.
- 18) 長崎正男, 將積日出夫, 浅井正嗣, 麻生 伸, 中川 肇, 渡辺行雄: 当科における深頸部感染症の検討. *耳鼻咽喉科展望* 43(6): 72-75, 2000.
- 19) 梅野克身, 永嶋義直, 高倉大匡, 矢田幸博, 堀

悦郎, 小野武年, 西条寿夫: 暗算負荷中の呼吸循環動態および脳波の線形解析, 自律神経 37(5): 572-579, 2000.

◆ 症例報告

- 1) 島 岳彦, 中川 肇, 渡辺行雄: 平成10年度耳鼻科学学校検診結果と鼻アレルギーアンケートの比較検討. 花粉症研究会会報 11: 22-25, 2000.
- 2) 安部英樹, 坂下英雄, 宮永路子, 長山郁生: 頸部胸腺嚢胞例. 耳鼻咽喉科臨床 93(4): 323-326, 2000.
- 3) 小林健二, 將積日出夫, 藤坂実千郎, 麻生伸, 渡辺行雄: 顔面神経麻痺にて発症した中耳結核の一例. FACIAL NERVE RESEARCH vol.20: 86-88, 2000.

◆ 総 説

- 1) 渡辺行雄: めまい発作期の薬物治療. 日本医事新報 3953, 2000.
- 2) 渡辺行雄: 病態と最近の治療法—末梢性めまい—. CLINICAL NEUROSCIENCE 別冊18(7): 809-812, 中外医学社, 2000.
- 3) 麻生 伸: Jannettaの手術. 耳鼻咽喉科診療Q & A 32: 56-57, 2000.
- 4) 水越鉄理, 將積日出夫, 渡辺行雄: 高齢者のメニエール病とその対策. JOHNS 16(12): 1885-1888, 東京医学社, 東京, 2000.

◆ 学会報告

- 1) 渡辺行雄, 將積日出夫, 竹森節子, 小林健二, 長崎正男, 他: 前庭誘発筋電位の記録分析方法について. 日本平衡神経科学会ワークショップ第2回耳石機能と頭位変化に伴うめまい検査の再評価, 2000, 2, 東京.
- 2) 將積日出夫, 竹森節子, 小林健二, 長崎正男, 赤荻勝一, 他: Glycerol 負荷VEMP. 日本平衡神経科学会ワークショップ第2回耳石機能と頭位変化に伴うめまい検査の再評価, 2000, 2, 東京.
- 3) 渡辺行雄, 武田精一: MS-DOSからのプログラム移植を考慮したWINDOWSプログラミング. 第16回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 2000, 3, 和歌山.
- 4) 渡辺行雄, 武田精一: WINDOWSプログラミングによるアナログ情報処理. 第16回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 2000, 3, 和歌山.
- 5) 武田精一, 五十嵐良和, 麻生 伸, 渡辺行雄: 富山医科薬科大学耳鼻咽喉科ホームページ, 5年間の運営状況. 第16回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 2000, 3, 和歌山.
- 6) 島 岳彦, 中川 肇, 渡辺行雄: 特異的IgE抗

体産生に關与する因子の疫学的検討. 第18回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会, 2000, 3, 金沢.

- 7) Satoru Takata, Osamu Ohtani: Lectin binding patterns in nasal-associated lymphoid tissue (NALT) of rats and the influence of various types of lectin on the particle uptake in NALT. 第105回日本解剖学会総会, 2000, 3, 横浜.
- 8) 梅野克身, 高倉大匡, 酒井重数, 宮本啓一, 小野武年, 西条寿夫: 音声暗算負荷による脳波のガンマ波および自律神経反応の変動スペクトル, コヒーレンス, 伝達関数解析. 第77回日本生理学会, 2000, 3, 東京.
- 9) 長崎正男, 將積日出夫, 浅井正嗣, 麻生 伸, 中川 肇, 渡辺行雄, 原 祐郁: 当科における深部感染症の検討. 第10回北陸耳鼻咽喉科感染症研究会, 2000, 4, 金沢.
- 10) 將積日出夫, 小林健二, 長崎正男, 赤荻勝一, 竹森節子, 麻生 伸, 渡辺行雄: Glycerol負荷VEMPの検討. 第34回日耳鼻富山県地方部会, 2000, 4, 富山.
- 11) 高田 訓, 渡辺行雄: ラット鼻内リンパ組織(NALT)におけるレクチン結合パターンとレクチン鼻内投与がNALTでの抗原摂取に与える影響. 第34回日耳鼻富山県地方部会, 2000, 4, 富山.
- 12) 安村佐都紀, 長崎正男, 浅井正嗣, 木村 寛, 渡辺行雄: 鼻腔basaloid squamous carcinomaの一例, 第18回北陸頭頸部腫瘍研究会, 2000, 4, 金沢.
- 13) 浅井正嗣, 渡辺行雄: 重心動揺計とビデオ画像解析による前庭障害患者の体平衡評価. 第9回耳鼻咽喉科リハビリテーション医学研究会, 2000, 4, 東京.
- 14) 渡辺行雄, 麻生 伸, 將積日出夫, 浅井正嗣: WINDOWSによる耳鼻咽喉科領域のアナログ情報処理. 第101回日本耳鼻咽喉科学会, 2000, 5, 東京.
- 15) 麻生 伸, 藤坂実千郎, 十二町真樹子, 安村佐都紀, 渡辺行雄: 中耳手術における術中蝸電図モニタリングの実際. 第101回日本耳鼻咽喉科学会, 2000, 5, 東京.
- 16) 浅井正嗣, 清水勝利, 渡辺行雄: 足圧中心動揺と体重心動揺の比較検討. 第101回日本耳鼻咽喉科学会, 2000, 5, 東京.
- 17) 將積日出夫, 竹森節子, 小林健二, 長崎正男, 赤荻勝一, 他: VEMPの検査方法. 第101回日本耳鼻咽喉科学会, 2000, 5, 東京.

- 18) 安村佐都紀, 渡辺行雄, 將積日出夫: コリオリ刺激による動揺病症状発現時の自律神経機能. 第101回日本耳鼻咽喉科学会, 2000, 5, 東京.
- 19) 伏木宏彰, 渡辺行雄: ウサギ小脳小節の視運動性後眼振における役割. 第101回日本耳鼻咽喉科学会, 2000, 5, 東京.
- 20) Y.Watanabe, Zhang RL, H. Shojaku: Distribution of afferent fibers projections within the vestibular nucleus, which responds to intense sound. 21st Barany Society Meeting 2000, 6 Uppsala, Sweden.
- 21) H.Shojaku, S.Takemori., K.Kobayashi, M. Nagasaki, K.Akaogi et al: Clinical significance of Glycerol VEMP for diagnosing the endolymphatic hydrops of the inner ear. 21st Barany Society Meeting 2000, 6 Uppsala, Sweden.
- 22) K.Mizukoshi, H.Shojaku, S.Aso, M.Asai, Y.Watanabe: Meniere's disease and delayed endolymphatic hydrops in children. 21st Barany Society Meeting 2000, 6 Uppsala, Sweden.
- 23) 將積日出夫, 竹森節子, 小林健二, 安部英樹, 渡辺行雄: 前庭誘発筋電位(VEMP)検査. 第285回日耳鼻北陸地方部会連合会, 2000, 6, 金沢.
- 24) 丸山元祥, 藤坂実千郎, 麻生 伸, 將積日出夫, 渡辺行雄, 高野康雄: 放射線が著効したmalignant oncocyoma一例. 第285回日耳鼻北陸地方部会連合会, 2000, 6, 金沢.
- 25) 島 岳彦, 中川 肇, 渡辺行雄: 特異的IgE抗体産生に関与する因子の検討. 第21回富山免疫アレルギー研究会, 2000, 6, 富山.
- 26) 小林健二, 將積日出夫, 藤坂実千郎, 麻生伸, 渡辺行雄: 顔面神経麻痺にて発症した中耳結核の一例. 第23回日本顔面神経研究会, 2000, 6, 大阪.
- 27) 藤坂実千郎, 麻生 伸, 安村佐都紀, 渡辺行雄: 耳小骨連鎖障害に対する外科的治療と術中蝸電図モニタリング. 第25回日本外科系連合学会, 2000, 6, 東京.
- 28) 安村佐都紀, 長崎正男, 浅井正嗣, 木村 寛, 渡辺行雄: 鼻腔basaloid squamous carcinomaの一例. 第62回耳鼻咽喉科臨床学会, 2000, 7, 福井.
- 29) 麻生 伸: 蝸電図の起源と臨床応用について. 第30回日本聴覚医学会ERA研究会・ミニレクチャー「誘発反応の起源」, 2000, 7, 東京.
- 30) 丸山元祥, 藤坂実千郎, 麻生 伸, 將積日出夫, 安田恵子, 渡辺行雄, 木村寛: 甲状腺に刺入した咽頭腔外異物の一例. 第48回日耳鼻中部地方連合会, 2000, 7, 名古屋.
- 31) 浅井正嗣, 碓井理恵, 清水勝利, 渡辺行雄: 日常生活動作の画像解析. 第48回日耳鼻中部地方連合会, 2000, 7, 名古屋.
- 32) 安村佐都紀, 渡辺行雄, 將積日出夫: 動揺病様症状発現時の自律神経機能. 第18回頭頸部自律神経研究会, 2000, 8, 大阪.
- 33) 將積日出夫, 安部英樹, 小林健二, 渡辺行雄, 竹森節子, 関次郎: 骨導刺激によるVEMP検査. 第286回日耳鼻北陸地方部会連合会, 2000, 9, 金沢.
- 34) 坪田雅仁, 藤坂実千郎, 將積日出夫, 大井秀哉, 高倉大匡, 渡辺行雄, 平島 豊: 脳膿瘍を初発とした中耳真珠腫の2症例. 第286回日耳鼻北陸地方部会連合会, 2000, 9, 金沢.
- 35) Satoru Takata, Osamu Ohtani: Lectin binding patterns in nasal-associated lymphoid tissue (NALT) of rats and the influence of various types of lectin on the particle uptake in NALT. 15th International Symposium on Morphological Sciences, 9, 2000, Kyoto.
- 36) 高倉大匡, 梅野克身, 堀 悦郎, 田淵英一, 宮本啓一, 小野武年, 西条寿夫: 音順列記憶課題中のヒト事象関連電位の解析. 第23回日本神経科学大会, 2000, 9, 横浜.
- 37) 梅野克身, 高倉大匡, 田淵英一, 堀 悦郎, 小野武年, 西条寿夫: 高次精神機能に伴う γ 帯域の脳波と自律神経反応の相関. 第23回日本神経科学大会, 2000, 9, 横浜.
- 38) 麻生 伸, 釣田美奈子, 十二町真樹子, 藤坂実千郎, 渡辺行雄: 当科におけるABR両側無反応小児の追跡調査. 第45回日本聴覚医学会, 2000, 10, 名古屋.
- 39) 安村佐都紀, 麻生 伸, 藤坂実千郎, 渡辺行雄: 人工内耳手術を行ったミトコンドリア脳筋症MELASの一例. 第45回日本聴覚医学会, 2000, 10, 名古屋.
- 40) 藤坂実千郎, 麻生 伸, 十二町真樹子, 渡辺行雄: 補聴器装用効果に関するアンケート調査. 第45回日本聴覚医学会, 2000, 10, 名古屋.
- 41) 麻生 伸, 藤坂実千郎, 十二町真樹子, 安村佐都紀, 渡辺行雄: 術中蝸電図モニタリングを用いた耳小骨連鎖再建手術(第2報). 第10回日本耳科学会, 2000, 10, 浜松.
- 42) 小林健二, 安村佐都紀, 麻生伸, 伊東宗治, 渡

- 辺行雄：側頭骨にみられたossifying fibromaの一例。第10回日本耳科学会，2000，10，浜松。
- 43) 安村佐都紀，本島ひとみ，赤荻勝一，伊東宗治，清水勝利，稲葉博司，渡辺行雄：咽喉頭異常感症と漢方薬。第16回日本耳鼻咽喉科漢方研究会，2000，11，東京。
- 44) 浅井正嗣，渡辺行雄：前庭障害患者の足圧中心動揺と身体動揺。第21回バイオメカニズム学術講演会，2000，11，福岡。
- 45) 安村佐都紀：外耳炎・中耳炎に対する耳浴治療の有用性。第35回日耳鼻富山県地方部会，2000，11，富山。
- 46) 五十嵐良和：抜歯後に生じた破傷風の1例。第35回日耳鼻富山県地方部会，2000，11，富山。
- 47) 藤坂実千郎，將積日出夫，安村佐都紀，麻生伸，渡辺行雄：当科におけるナビゲーションシステムの使用経験（第2報）。第2回耳鼻咽喉科ナビゲーション研究会，2000，11，金沢。
- 48) 渡辺行雄，將積日出夫，碓井理恵：パソコンによる前庭誘発筋電位の計測—高速現象情報処理の応用例—。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 49) 將積日出夫，竹森節子，関要次郎，小林健二，安部英樹，他：前庭誘発筋電位(VEMP)検査—聴神経腫瘍手術症例での検討—。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 50) 將積日出夫，竹森節子，渡辺行雄：VEMP記録の実際。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 51) 浅井正嗣，清水勝利，渡辺行雄：足圧水平成分と身体動揺について。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 52) 安村佐都紀：温度刺激検査時の自律神経機能の動態—心電図RR間隔のスペクトル分析を用いて—。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 53) 伏木宏彰，安田恵子，和田倫之助，渡辺行雄：視性自己回転感における周辺視野の重要性。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 54) 十二町真樹子，將積日出夫，小林健二，安部英樹，渡辺行雄，竹森節子：グリセロール負荷VEMPの臨床的意義。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 55) 本島ひとみ，將積日出夫，浅井正嗣，中川 肇，渡辺行雄：いわゆる Transitory alternating saccadeの検討。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 56) 安部英樹，小林健二，將積日出夫，渡辺行雄：骨導刺激を用いた頸部誘発筋原性電位の検討。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 57) 小林健二，浅井正嗣，碓井理恵，渡辺行雄：足踏み動作の2次元および3次元画像解析の比較検討。第59回日本めまい平衡医学会，2000，11，東京。
- 58) 藤坂実千郎，麻生 伸，十二町真樹子，渡辺行雄：補聴器装用効果に関するアンケート調査。第287回日耳鼻北陸地方部会連合会，2000，12，金沢。
- 59) 和田倫之助，藤坂実千郎，將積日出夫，石田正幸，丸山元祥，渡辺行雄：頭頸部筋組織内に発生した膿瘍の2例。第287回日耳鼻北陸地方部会連合会，2000，12，金沢。
- 60) 將積日出夫，赤荻勝一，中村宏，関要次郎，竹森節子，他：強低音によるヒト下肢誘発筋電位。第30回日本臨床神経生理学会，2000，12，京都。
- 61) 高倉大匡，梅野克身，堀 悦郎，田渕英一，宮本啓一，小野武年，西条寿夫：音順列記憶課題における聴覚事象関連電位の解析。第30回日本臨床神経生理学会，2000，12，京都。
- 62) 西村房枝，梅野克身，高倉大匡，梶浦英明，福永龍繁，西条寿夫：飲酒時の心拍および血圧変動に対するアルデヒド脱水素酵素の遺伝子型の影響。第30回日本臨床神経生理学会，2000，12，京都。
- ◆ その他
- 1) 渡辺行雄，浅井正嗣，清水勝利：一側前庭障害患者の体平衡機能—重心動揺計と画像解析の比較検討—。「厚生省特定疾患聴覚・平衡機能系疾患調査研究班 前庭機能異常調査研究分科会平成11年度研究報告書」71-73，2000。
- 2) 渡辺行雄，將積日出夫，藤坂実千郎，安部英樹，木村 寛：特定地区におけるメニエール病有病率の推移について。「厚生省特定疾患聴覚・平衡機能系疾患調査研究班 前庭機能異常調査研究分科会平成11年度研究報告書」74-75，2000。
- 3) 渡辺行雄，將積日出夫，竹森節子：内リンパ水腫推定検査としての音刺激誘発筋原電位(VEMP)の臨床的意義。「厚生省特定疾患聴覚・平衡機能系疾患調査研究班 前庭機能異常調査研究分科会平成11年度研究報告書」76-77，2000。
- 4) 渡辺行雄，將積日出夫，水越鉄理：メニエール病の疫学調査結果reviewと今後の調査活動。「厚生省特定疾患聴覚・平衡機能系疾患調査研究班 前庭機能異常調査研究分科会平成11年度研究報告書」78-80，2000。
- 5) 麻生 伸：BPPVに対するEpley法の効果。第4回愛知耳鼻咽喉科フォーラム・良性発作性頭位

- 眩暈症 (BPPV) シンポジウム, 2000, 2, 名古屋.
- 6) 渡辺行雄: めまいの検査・治療についての最近の話題. 日耳鼻長野県地方部会特別講演, 2000, 3, 長野.
 - 7) 渡辺行雄: 高齢者のめまい—末梢障害と中枢障害の鑑別を中心に—. 第18回高齢者福祉医療研究会“富山”特別講演, 2000, 3, 富山.
 - 8) 渡辺行雄: 耳鼻咽喉科におけるめまい症例の取扱い. 日耳鼻耳鼻咽喉科研究会特別講演, 2000, 4, 高岡.
 - 9) 渡辺行雄: めまい症例の取扱い. 第2回東京医科大学耳鼻咽喉科臨床カンファレンス特別講演, 2000, 4, 東京.
 - 10) 藤坂実千郎: 医薬大における人工内耳装用前後の実態. 第157回富山県聴覚障害研究会, 2000, 5, 富山.
 - 11) 將積日出夫: VEMP. 第17回日本めまい平衡医学会医師講習会, 2000, 7, 東京.
 - 12) 將積日出夫: 前庭誘発筋電位の臨床的意義とその問題点. 平成12年度日本めまい平衡医学会勉強会, 2000, 7, 東京.
 - 13) 渡辺行雄: 体平衡機能の生理と病態. 第55回日本体力医学会大会教育講演, 2000, 9, 富山.
 - 14) 藤坂実千郎: 耳鼻科領域におけるナビゲーションシステムの原理と実際. 日耳鼻富山県地方部会第159回集談会, 2000, 9, 富山.
 - 15) 渡辺行雄: 耳鼻咽喉科クリニックの新しい設備—検査機器—. 第14回日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会, 2000, 11, 福岡.
 - 16) 渡辺行雄: めまい疾患の取扱い. 日耳鼻福井県地方部会特別講演, 2000, 12, 福井.

泌 尿 器 科 学

教	授	布	施	秀	樹
講	師	岩	崎	雅	志
講	師	奥	村	昌	央
助	手	永	川	一	郎
助	手	水	野	康	博
助	手	村	石	靖	喜
助	手	藤	内	明	明
助	手	十二町	田	昌一郎	夫
技	官	太野	崎	哲	葉
		池	原	葉	子

◆ 著 書

- 1) 布施秀樹: 検査; 腎機能検査, NEW泌尿器科学, 44-48, 2000.

◆ 原 著

- 1) Okumura A., Ohta S., Murakami K., Nozaki T., Fuse H.: Endoscopic surgery for ejaculatory duct obstruction. *Jpn J Endourol*, 13: 96-99, 2000.
- 2) Nagakawa O., Murakami K., Yamaura T., Fujiuchi Y., Murata J., Fuse H and Saiki I.: Expression of membrane-type 1 matrix metalloproteinase (MT1-MMP) on prostate cancer cell lines. *Cancer Lett.*, 173-179, 2000.
- 3) Fujishiro Y., Kishi H., Matsuda T., Fuse H. and Muraguchi A.: Lactate dehydrogenase A-dependent surface expression of immune thymocyte antigen-1: an implication for a novel trafficking function of lactate dehydrogenase-A during T cell development. *Eur J Immunol.*, 30: 516-524, 2000.
- 4) Muraishi Y., Mitani N., Yamaura T., Fuse H., and Saiki I.: Effect of Interferon- α A/D in Combination with the Japanese and Chinese Traditional Medicine Juzen-taiho-to on Lung Metastasis of Murine Renal Cell Carcinoma. *Anticancer Res.*, 20: 2931-2938, 2000.
- 5) Junicho A., Matsuda T., Yamamoto T., Kishi H., Korkmaz K., Saatcioglu F., Fuse H. and Muraguchi A.: Protein inhibitor of activated STAT3 regulates androgen receptor signaling in prostate carcinoma cells. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 278: 9-13, 2000.